

## 活動状況報告書（10月分）

スポーツコース 第6期生 狩野 亮

この1ヶ月は、対障がい者だけではなく、対社会における Wheelchair Skills Team の活動に帯同することができました。小さな都市で行われたアクセシビリティウィーク、地域の公園で行われていた放課後イベント、スポーツの専門学校における授業、スポーツ団体が行なっている夜の交流会及びセミナー、など様々な場所で車椅子技術の提供を通じ社会と結びついている現状を学ぶことができました。『車椅子で生きていく』という同様の内容を伝えた場合でも、対象者が変わると受け取り方が変わってくるということを再確認しました。北海道にて、どのような価値を生み出していくことができるか、とても楽しみに感じたと共に、しっかりと私なりの目指すものを構築し、進んで行きたいと感じました。

また、競技における分野の活動として、オランダのナショナルトレーニングセンターの一つである、パペンダルを訪れアルペンスキーチームと共にトレーニングを行いました。オランダチームは、2018年大会からメダルの常連となり、その強さの要因を知り、私たちが進んできた道との比較を行いたいと考えました。そこには、選手にとって素晴らしい環境が整っており、彼らが世界の舞台で常に上位に入っている理由を知ることができました。しかし、若手育成など、日本と同様の課題も抱えており、全てが順調に進んでいるわけではないこともわかりました。今後、ウィンタースポーツ強化を進めていく際には、今回得られた情報を活かし、選手にとって最短の道を導いていけるようサポートしていけたらと考えます。



